

【広域ブロック自立施策等推進調査】

フォローアップ報告書

調査名		地域底力強化のための新たな交流連携推進調査(農都連携による地域底力強化推進調査)	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	農林水産省中国四国農政局	
	関係府省(庁)局課名等		
調査地域		中国圏	
調査年度		平成21年度	
配分額		12,704千円	
調査概要	調査内容	広域合併市においては農業集落と中心市街地の空洞化の同時進行の危機に直面しているが、そうした困難に打ち勝ち、圏域の持続的発展を遂げるには、地域の底力を発揮・強化することが急務である。そのため、地域底力を強化する新機軸として、新たな交流連携である「農都連携による地域底力強化戦略」の具体的方策を検討すべく、鳥取県鳥取市をモデル地域として位置づけ、農業集落と中心市街地の活性化を一体的に推進する「農都連携クラスター展開プログラム」の検討・策定を行った。	
	調査結果(成果)	モデル地域である鳥取市における地域現況の把握、市民アンケートにより関心・興味の方向性、効果的な取り組み・イベントを抽出。合同朝市、空き店舗活用の農産物マーケット等の実証実験を実施。全国の同様な広域合併市へのアンケート、同様な取り組みを行う他都市の調査で状況や先進事例を把握。また、学識者、活動団体関係者をまじえた協議会で幅広く意見を収集した。以上を踏まえて、農都連携クラスター展開プログラムを策定し、新たな農村都市像のデザイン、農都連携クラスターのマネジメント組織のイメージ及び推進スキーム、農村地域及び中心市街地で展開するプログラムメニュー等を提言した。	
	関係する広域地方計画	中国圏広域地方計画第3章第5項「里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト」及び同第7項「中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	農都連携に関連した事業計画を新規に立てる活動主体の参考資料として活用。また、地方公共団体等に調査結果を配布する事によって、類似した施策の展開にあたっての参考資料として活用。	NPO法人等の活動主体が援農ボランティアや農産物の直売に着手予定。
	22年度	<ul style="list-style-type: none"> ■農都連携による地域底力強化推進調査事業協議会構成員へ配付し、関連施策検討の参考資料として活用 ■鳥取市市内に「農都連携事業に係る協議会」を設置し、(財)とっとり地域連携・政策総合研究センターとも連携しながら今後の施策を検討する際に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■鳥取版農都連携の戦略プログラムを策定し、本プログラムに基づく様々な関連事業の検討を実施 ■中心市街地の商店街と近隣町村との連携によるイベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・智頭街道商店街(中心市街地)と智頭町との連携によるイベント(「ちず・ちづ朝市」:9/26、10/24、11/28) ・若桜街道(中心市街地)と若桜町・八頭町等との連携によるイベント(「ごちそうマルシェ」10/22、10/23) ■鳥取市雇用創造戦略方針の重点事業の一つとして農都連携推進事業を位置付け ■新たな展開 <ul style="list-style-type: none"> ・若桜街道において、常設のコミュニティキッチン・マルシェ(農産物、パン、加工品等販売)を計画 ・鳥取市内中山間地の農産物を主とする軽トラ市を引き続き平成23年度も複数回実施することを検討 ・中山間地の買物弱者に対する取組みとして農都連携における流通サービスを検討(平成23年度CATVを活用したモデル実験を計画)
フォローアップ	23年度	<ul style="list-style-type: none"> 食ブランド創出プロジェクトなど関連施策検討の参考資料として活用 関係機関などとも連携しながら具体的事業の実施の際に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■中心市街地の商店街と近隣町村との連携によるイベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・智頭街道商店街(中心市街地)と智頭町との連携によるイベント(「ちず・ちづ朝市」:8/28、9/25、10/23、11/27) ・若桜街道(中心市街地)と若桜町・八頭町等との連携によるイベント(「ごちそうマルシェ」11/3) ■新たな展開 <ul style="list-style-type: none"> ・若桜街道において、常設のコミュニティキッチン・マルシェ(農産物、パン、加工品等販売)を開設(3/14~) ・鳥取市内中山間地の農産物を主とする軽トラ市を平成23年度も4回実施 ・中山間地の買物弱者に対する取組として農都連携における流通サービスを検討(平成23年度CATVを活用したモデル実験を7月~3月まで実施)
	24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■経済循環活性化推進プロジェクト(鳥取市)など関連施策検討の参考資料として活用 ■関係機関などとも連携しながら具体的事業の実施の際に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■中心市街地の商店街と近隣町村との連携によるイベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・智頭街道商店街(中心市街地)と智頭町との連携によるイベント(「ちず・ちづ朝市」:8/5、8/28、9/24、11/15、11/29)を開催 ・若桜街道(中心市街地)と若桜町・八頭町等との連携によるイベント(「ごちそうマルシェ」:4/29、11/3)を開催 ■産直店舗の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・若桜街道において、常設のコミュニティキッチン・マルシェ(農産物、パン、加工品等販売)を展開 ■移動販売の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市佐治地域を対象に移動販売車による買物弱者サービスを展開(平成25年1月より開始)
	総括的評価	<p>調査目的の達成状況とその要因 空き店舗を活用した産直店舗の展開や軽トラ市の実施など調査の成果が具体的な事業展開に繋がり、調査の目的である「農業集落と中心市街地の活性化の一体的推進」に一定の効果が達成されたと考えられる。</p> <p>調査手法の妥当性 市民アンケートや地域住民を対象としたワークショップの開催による意見収集、また、市内大学や農業生産者、中心市街地活性化の推進メンバー、行政などを交えた2回の協議会の開催により、地域のニーズや地域の実情に沿った戦略プログラムが導かれた。よって、調査手法は効果的なものだったと考える。</p>	